



学園だより
第52号
発行 東京都船形学園
令和元年5月20日

園内のピアノクラブ発表会がありました



船形学園のクラブ活動の一つに「ピアノクラブ」があります。ピアノクラブに入った子どもたちは毎月3回のレッスンを行っています。講師は地域でも週5日ピアノ教室をしている永井理恵さんが学園に足を運んでくださり、子どもたちにピアノを教えて下さっています。毎年、年度の初めにピアノクラブの児童を募集するのですが、とても人気があるクラブ活動です。平成31年3月17日に発表会を行いました。発表会で演奏する児童はおしゃべりをして会場に向かいます。「初めてみんなの前で演奏するから緊張する」といい、表情が硬い児童もいました。そして、発表・・・皆さん、とても上手に演奏出来ました!!多くの

今年度もご指導よろしくお願ひいたします!

児童が発表会に観に来ていましたが、その緊張に負けることなく、最後まで上手に演奏をしていました。昨年度からピアノクラブを始めた子どもが3人いましたが、発表会では上手に弾けるようになった姿を見せてくれました。発表が終わった後に先生から「今日の演奏が一番良かったよ」と褒めてもらい、みんなとても嬉しそうでした。



永井先生に子どもたちがインタビューしました!!

- Q 先生はどうして学園でピアノを教えようと思ったんですか?
- A 学園でピアノを習いたいと言った子どもたちがいたからです!!
- Q 学園のピアノクラブの子どもたちはどんな子ですか?
- A みんな個性的でレッスンの時はとても賑やかです。難しい演奏をする時にすぐに投げ出すこともあります。次週は休まずに笑顔でレッスンに来てくれるし、とても楽しくレッスンができています。

園長挨拶

兩谷 真人
(あまがい まさと)

今年4月にこの船形学園の園長に
着任いたしました兩谷真人です。

新任ですので、少し、自己紹介を
させていただきます。出身は茨城県
下館市(現：筑西市)で、そこで高
校卒業まで過ごし、大学進学を機に
東京に出てきました。26歳の時に都
庁に入り、都庁では、主に都の救急
医療体制の整備や都立病院の運営等
に関わる仕事を担当してきました。
今回、念願が叶って、施設の現場、
中でも子供たちの健やかな成長と自
立を目指す本学園に赴任すること
になりました。

船形の町の印象ですが、都会の喧
騒から離れているという点では、茨
城と同じですが、海からの風のせい

ででしょうか、空気に淀みがなく、街並
みの輪郭ははっきりして、色彩も鮮や
かに感じられます。そして「ピーピョロ
ロ」の鳴き声で飛び大きな鳥。ネットで
「ピーピョロロ」で検索すると「トン
ビ」がヒット。翼を広げ、海風を活か
し、旋回しながら上空へ舞い上がる様
は、空の王者の貴塚十分です。

歴代の園長は単身赴任の方が多いよ
うですが、私は、もともと単身の身で
す。憂いなく今は身も心もここ船形の
地にあります。

早速、園長として、子ども園の入園
式、小学校、中学校の入学式に列席さ
せていただきました。新入生は名前を
呼ばれるとしっかりと大きな声で「は
い」と返事をし、在校生は頼れる先輩
お兄ちゃん、お姉ちゃんとして新入生
を迎え入れている、その姿を目にする
ことができ、この子供たちの可能性に満
ちた明るい未来に思いを馳せました。

折しも、平成から令和へと新たな時
代を迎え、そして、本学園の前身の養

育院安房分院初代院長である渋沢栄一
先生が新紙幣の肖像画に採用されるこ
ととなりました。

渋沢先生や当時の船形の人たちの意
思を受け継ぎ、子供たちが地域の中で
健やかに育まれるよう、地域の方々と
の信頼関係を変わらず守り続けていく
とともに、新たな課題には、変化を恐
れず、対応していかなければなりません。
赴任して間もないですが、本園の
職員は、子供一人ひとりの心身の成長
と将来を考え、あたたかく、時にはき
びしく子供たちと接しているのだとい
うことを強く感じております。

こうした職員とともに、本園が抱え
る課題に向き合い、一歩、二歩と前に
進んでいきたいと思っております。

最後になりますが、地域の方々や関
係者の皆様におかれましては、今後も
本園の運営にご理解とご支援を頂きま
すよう、どうぞよろしく願います。



お知らせ

例年、5月5日に開催してい
るふれあい祭ですが、今年度は
10月上旬に開催する予定と
なっております。
ご理解の程、よろしく願いま
します。



管理グループ

をかけてもらえると嬉しいのです。これからよろしく願っています。

安藤 仁美

(あんどう ひとみ)

はじめまして。この度、調理室にお世話になります。安藤です。房総で生まれ育ち、海は慣れていましたが

初めて船形学園から眺める景色を見た時は、とても綺麗で驚きました。毎日、綺麗な海を眺めつつ、子どもたちに美味しい食事を作るように、一生懸命取り組んでいきたいと思えます。皆さん、よろしく願っています。

鷹 齋香

(たかのはし せいか)

4月から船形学園の調理員として働くことになりました「鷹齋香」です。料理をすることが好きなので、おいしい食事を作っていただけるように頑張りたいです。サッカーをすることが好きなので、やることがありましたらぜひ声

支援グループ

葛 絵理奈

(かつら えりな)

今年度より、船形学園・なのはな室に配属となりました。葛 絵梨奈と申します。私は千葉県出身ですが、地元での“海”と言えば工場地帯でしたので、海が青いこと、風が強い日には波の音が聞こえてくること等、初めて経験することがたくさんありました。大学では社会福祉を学んでいました。実際に現場に入ってみると新たに覚えることがたくさんあり、正直なところ覚えただけで精一杯になっています。これからは直接教えて頂くことだけでなく、先輩職員の皆さんの姿（児童との関わり方、声の掛け方等）からまたくさん学ばせて頂きたいと考えています。至らない点が多々あると思えますが、ご指導・鞭撻のほどよろしく願います。

水野 春奈

(みずの はるな)

4月1日付けで船形学園、ポプラ室に配属になりました。水野春菜と申します。大学ではこども心理を専攻しておりました。「たくさんの子とも達を笑顔にしたい」という思いを胸に必死に勉強をし、この船形学園に内定を頂くことが出来ました。子ども達への接し方や寄り添い方に、少しでも学んできた知識が活かせたらいいな、と思っております。一人ひとりの子ども達を幸せに出来るように、精一杯頑張りたいと思いますので、ご指導のほどよろしく願っています。

渡邊 円

(わたなべ まどか)

初めまして。4月から船形学園、ほくと室でお世話になっています。船形学園は、海と山に囲まれた穏やかな気候に恵まれた環境です。児童養護施設

は初めてです。早く仕事を覚え、子どもたち、地域の皆さま、職員の方々のお役に立てるよう頑張ります。よろしく願っています。

庄司 由美子

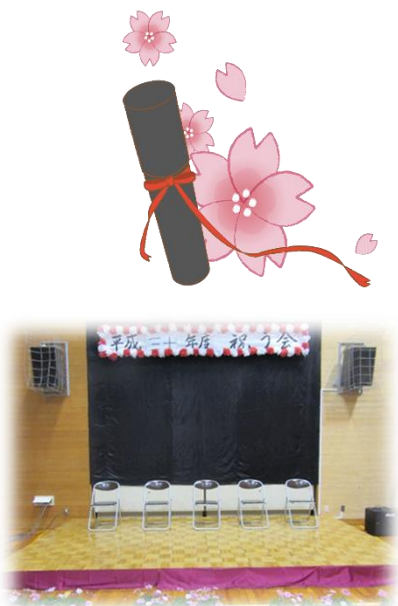
(しょうじ ゆみこ)

4月からひまわり室の担当になりました庄司由美子です。埼玉からこちらに移ってきました。子どもが大好きで、この仕事が大好きで、今まで同じ場所ですと保育の仕事が続けてきました。今の自分ができること、できそうなこと、したいこと、したくないこと・・・そんなことを考えてこの場所に来ました。毎日見える海や山からは元氣がもたえます。子どもたちが生きる力を蓄え、大きく育っていくのを応援し、私もまだまだたくさんのお話を学びたいと思っています。埼玉には大切な人がたくさんいます。この館山でも私が大切と思える人と出会いがいっぱいありますように。みなさんよろしく願っています。

祝う会を行いました

平成31年3月3日に高校3年生の卒園を祝う『祝う会』を行いました。「祝う会」とは、高校3年生が卒園するにあたり、門出を祝う会です。

卒園を祝う在園児童と職員から出し物をしたりして盛り上がった後、卒園する児童へ職員が言葉を送ります。長く在園していた児童も多く、ずっと成長を見守ってきた職員からの挨拶に児童も色々な気持ちが見えあげてきて、中には涙を流す児童もいました。最後に卒園する児童からの言葉です。学園での生活の思い出や長い間、成長を見守ってきた職員や部屋の児童への感謝の言葉などを述べる児童の成長した姿に感動しました。私たち職員もあなた方と一緒に一緒に成長できました。こちらこそ感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございます。



卒園生の言葉

Oさん

学園の職員の先生は時には厳しく、時には優しく接してくれました。この経験を忘れないようにしたいと思います。

Yさん

学園生活をして様々な事を学びました。この経験を糧に頑張っていきたいと思います。

Sさん

これからも一生懸命頑張ります。

Wさん

長い間、時には優しく、時には厳しくお世話になりました。

Iさん

これから社会に出て色々な試練に立ち向かうことになりましたが、学園生活で学んだ事を活かしていきたいと思っています。今までありがとうございました。

ボランティアさん大募集！

あなたの趣味や特技を生かしてみませんか。船形学園では、学習指導をしてくださる方、子どもたちと一緒に遊んでくださる方、行事のお手伝いをしてくださる方などの各種ボランティアを募集しています。お問い合わせ・お申し込みは船形学園支援グループ 中河まで連絡をください。



編集後記

地域・関係機関・保護者の皆様、いつも学園の運営へのご理解と協力を頂き誠にありがとうございます。

さて、船形学園はこの4月に新たな職員を迎えて、新しい年度をスタートさせました。新元号【令和】となりましたが、これまでと変わりなく、児童にとってより良い施設になるように支援をしております。

この号に関するお問い合わせは、船形学園広報担当までお願い致します。

第2号編集長 榎 晃平

学園だより「わびなみ」第2号

発行年月日 令和元年5月20日発行

編集・発行 東京都船形学園

千葉県館山市船形1377番地

電話 0470-27-2621

ホームページ <http://www.funagaku.org/>